

令和6年9月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和6年9月号」をお送りしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

アジアリーグアイスホッケーの東北フリーブレイズは、2024-2025 シーズンからホームタウンを八戸市と東京都にすると発表しました。これまで、八戸、郡山両市をホームタウンとして活動していましたが、郡山市はチーム創設地として「Founding Town：創設のまち」と位置付けられます。

フリーブレイズは、2022-2023 シーズンから都内でもホームゲームを開催しており、ホームタウンとなった今シーズンも、令和7年1月25日(土)、26日(日)の2日間、ダイドードリンコアイスアリーナ(西東京市)での開催が予定されています。

生でトップリーグの試合を楽しむことができる機会です。是非、地元スポーツの応援をよろしくお願いいたします。

なお、チケット販売等については、詳細が決まり次第ホームページで発表される予定です。

▼東北フリーブレイズの詳細はこちら(チームホームページ)

<https://freeblades.jp/>

◎皆様へのお願い

職業、役職、連絡先などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話(03)3261-8973 / FAX(03)3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 9月号 レポート

令和6年8月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	八戸市と12団体、県内初 空き家解消へ新組織
(2)	八戸市立図書館 5か月ぶりに再開 待ちわびた市民続々と
(3)	八戸市初実施 中学生対象「圏域ファームステイ」 農作業の苦労、面白さ体感
(4)	八戸市 初のインターンシップ事業 学生ら職場体験へ
(5)	8サポ活用創業者 23年度最多57人 24年度も好調

【産業】

記事	概要
(6)	幻の「南郷牛」いつでも 道の駅南郷（八戸） 取扱い開始
(7)	八戸・卸センター拡張工事完了 事業用地引渡しへ
(8)	八戸9社がPR 商工会議所が商談会
(9)	嶋脇漁業（八戸） 陸上養殖事業に着手 産学金官の連携

【地域】

記事	概要
(10)	八戸駅西に5月開業 トランポリンパーク 1万人突破
(11)	八戸商工会議所青年部 市に初の施策提言
(12)	八戸花火大会 最多7000発迫カショー
(13)	フラット八戸 東北最大級ゲームフェス開催
(14)	「長者ららら祭り」 屋台やゲーム、盆踊り 来場者満喫
(15)	イトーヨーカドー 八戸での歴史に幕 44年市民に愛され

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	国重要無形民俗文化財指定20年 八戸三社大祭 街中に感動の余韻
(17)	パリ五輪 小原選手 自転車スプリント6位、チームスプリント5位
(18)	榎谷伸夫さん「海村」都内で初公演 墓獅子も生披露
(19)	市内の文化イベント情報発信 LINEアカウント開設
(20)	八戸西高 短歌甲子園 3年ぶり優勝

【行政】

記事	
(1)	<p>八戸市と12団体、県内初 空き家解消へ新組織</p> <p>八戸市は8月7日、空き家問題解消に向けた新組織「はちのへ空き家解消ネットワーク」を発足させた。青森県内の自治体では初めての試みで、不動産、法務、建築、金融、空き家管理の5分野12団体に市を加えた13団体で構成される。これまで空き家問題は、相続や経済的な問題などで解決に至らないケースが多かったが、同ネットワークの発足により、所有者の同意を得た上で市が所有する情報を各団体と共有、専門家の視点から課題を分析。所有者に対し解決策を積極的に提案し、多岐にわたる問題にワンストップで対応できる。</p>
(2)	<p>八戸市立図書館 5か月ぶりに再開 待ちわびた市民続々と</p> <p>改修工事のため3月から休館していた八戸市立図書館が、8月8日、約5か月の工事を終えて再開した。冷房設備をはじめ、照明器具のLED化、防犯カメラ更新を行い、館内は以前まで部分的に冷房が効きにくいところがあったが、全体を快適な気温に保てるようになったという。前身の施設から150年の歴史があり、文化拠点のほか憩いの場としても市民に親しまれてきた同館。8日は開館に合わせ列を作っていた市民が続々と入館し、書棚を見て回ったり、新聞を眺めたりしていた。</p>
(3)	<p>八戸市初実施 中学生対象「圏域ファームステイ」 農作業の苦労、面白さ体感</p> <p>八戸市の中学生を対象に、将来的な地域定着や地域農業の担い手育成を目指す「八戸圏域ファームステイ事業」が夏休み期間を利用して行われた。中学生と三八地域の野菜や果樹、畜産農家を市などがマッチングし、2泊3日の農家民泊を行う。事業は本年度初実施で、市が参加費の一部を補助。今回は、12人の定員を大幅に上回る47人から申込みがあった。三戸町の農家では、市立白山台中の2名がモモの収穫や箱詰め、色付きを良くする反射シートの設置等の作業を体験。生徒は農作業の苦労や面白さを体感するとともに、「地域の新たな一面を知れた」と好印象を抱いたようだ。</p>
(4)	<p>八戸市 初のインターンシップ事業 学生ら職場体験へ</p> <p>八戸市は、市職員の仕事に興味のある学生を対象とした初のインターンシップ事業「八戸市役所オープンオフィス2024」を8月26～30日に開催した。初日のセミナーには、高校生から大学生までの48人（うちオンライン6人）が参加。採用試験についての情報提供や若手職員とのフリートークなどが行われ、市の課題や業務に理解を深めた。また、27～30日には各部署での職業体験に大学生ら16人が参加。インターンシップについて市はこれまで、学生の申し出や採用の問合せに個別対応していたが、本年度からは期間を設けて効率的に学生を受け入れ、仕事を知ってもらうことで人材確保にも期待する。</p>
(5)	<p>8サポ活用創業者 23年度最多57人 24年度も好調</p> <p>八戸市が「起業・創業」「事業承継」の総合相談窓口として開設する「はちのへ創業・事業承継サポートセンター（8サポ）」を利用した2023年度の創業者数は、過去最多の57人を記録した。24年度も好調な滑り出しを見せる。23年度の創業者は男女別で男性34人、女性23人。30代が20人と最多で、業種別では、「宿泊、飲食サービス」や理美容などの「生活関連サービス、娯楽」、「医療・福祉」と続く。関係者は「新型コロナウイルス感染症が落ち着き、市民がやりたいことに挑戦できる環境が整いつつある」と分析する。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p>幻の「南郷牛」いつでも 道の駅南郷（八戸）取扱い開始</p> <p>八戸市南郷で育った、柔らかな肉質と甘みのある脂身が特長の「南郷牛」の取扱いが、8月1日、同市の道の駅なんごうで始まった。レストランでの提供や、直売所での販売を行う。これまで南郷産牛などとして手がけており、おいしさに定評があったが、消費者からどこで売っているのかわからないとの声が寄せられていた。食肉総合卸業のヨシモトミート（同市）の協力により、南郷の市ヶ関牧場で生産された黒毛和種の未經産牛などと定義付けし、販売できることになった。関係者は、南郷村時代から根強いファンがいる“幻の牛肉”による地域振興に期待をかける。</p>
(7)	<p>八戸・卸センター拡張工事完了 事業用地引渡しへ</p> <p>八戸市の協同組合「八戸総合卸センター」が運営する商業団地「卸センター」の拡張工事が完了し、8月8日、竣工式が行われた。拡張前は空きスペースがなく、加盟企業の業務拡大や立地を望む新企業のニーズへの対応が課題となっていた。拡張に伴い整備した道路も市道として供用が開始され、国道45号や八食センター方面へのアクセスが向上。物流の拠点性が強化され、業務の効率化や新たな雇用創出による、地域産業の振興が期待される。</p>
(8)	<p>八戸9社がPR 商工会議所が商談会</p> <p>八戸商工会議所は8月22日、J R東日本東北総合サービス（仙台市）との個別相談会をY Sアリーナ八戸で開催した。販路開拓支援事業の一環で、八戸市内の9社が、自社が扱う商品の特徴や開発の経緯などを紹介した。J R東日本東北総合サービスは、東北の特産品などを取り寄せて販売するウェブショップを運営。商談会には駅の土産店を運営する担当者らが出席し、「東北の良い物や隠れた商品を発信したい」と商品拡充に意欲を示した。</p>
(9)	<p>嶋脇漁業（八戸）陸上養殖事業に着手 産学金官の連携</p> <p>八戸市の漁業会社「嶋脇漁業」は来年度、市内の空き倉庫を借り受け、ヒラメと大型カレイ「マツカワ」の陸上養殖に着手する。国の交付金を活用するほか、産学金官が連携して事業に参加。経営面の助言を青い森信用金庫、データ分析などを八戸工業大学、稚魚の提供などを県栽培漁業振興協会（階上町）、補助金支援などを八戸市がそれぞれ行う。養殖方法は、水を浄化しながら再利用することで排水を出さない「閉鎖循環式」。8月26日には、陸上養殖モデル構築に関する連携協定を締結した。来年4月以降に事業着手し、早ければ同年度末の初出荷を目指す。</p>

【地域】

記事	概要
(10)	<p>八戸駅西に5月開業 トランポリンパーク 1万人突破</p> <p>八戸駅西地区で5月に開業した「BOUNXI（バウンシー）トランポリンパーク」の来場者が8月6日、1万人を突破した。目標とした年間3万人を上回るペースで、関係者は年間4万人に迫る勢いだと手応えを語る。同パークは東北最大級で、9種類のアトラクションが楽しめる。利用者は八戸近郊に加え、仙台市や秋田県など県外からも訪れるほか、外国人利用客も2割に上り、米軍三沢基地関係者の外国人も多いという。夏休みも多くの日が予約で埋まり、同地区に新たなにぎわいを創出している。</p>

(11)	<p>八戸商工会議所青年部 市に初の施策提言</p> <p>八戸商工会議所青年部が八戸市に対する政策提言を初めてとりまとめ、8月7日、熊谷市長に提出した。青年部は昨年度、若手経済人の目線から地域や経済の課題に取り組もうと、政策提言委員会を組織。市職員らと意見を重ね、官民それぞれの視点を生かして提言内容を精査した。提言は、参加実行型のまちづくり会議設置、外国人労働者に選ばれる環境づくり、教育のために使える寄付型予算「スクールコラボファンド」導入の3項目。26日には市関係職員向けの説明会を開き、早期実現を訴えた。</p>
(12)	<p>八戸花火大会 最多7000発迫カショー</p> <p>第44回八戸花火大会が8月18日、八戸市の館鼻海岸で開かれた。昨年から会場への入場は有料席の購入者と招待者に限られるが、この日はほぼ満席の盛況ぶり。みちのく潮風トレイル全線開通5周年などを記念したプログラムなど15部構成で実施され、大会最多の約7千発が打ち上げられた。人気バンド「androp（アンドロップ）」と陸奥八仙のコラボレーションを展開している八戸酒造（同市）の特別協賛プログラムでは、andropの楽曲と花火が共演。会場に広がる大輪に、集まった約6300人の観客から歓声があがった。</p>
(13)	<p>フラット八戸 東北最大級ゲームフェス開催</p> <p>東北地方最大級のゲームイベント「BYOND THE REGION GAMING FESTIVAL Lv.4」が8月25日、フラット八戸で開催された。青森県立八戸東高の書道部によるパフォーマンスで開幕し、ステージ上では、青い森鉄道など鉄道会社4社が、自社のPR時間をかけて「桃太郎電鉄」で対戦したほか、ヴァンラーレ八戸の選手による解説の下、一般公募の参加者がサッカーゲーム「eフットボール」で対戦する企画などが催された。また、会場には県立八戸高の生徒が運営するゲームコーナーや、八戸高専生の愛好会「ろぼっと娘」によるプログラミング体験コーナーなども出店。1060人の来場者はゲームづくりの1日を堪能した。</p>
(14)	<p>「長者ららら祭り」屋台やゲーム、盆踊り 来場者満喫</p> <p>八戸市の長者良々良（ららら）会は8月25日、同市長者公民館で長者地区全域を対象とした「長者ららら夏祭り」を開催した。同会は地域に女性の力を活用するための組織として、今年2月に発足。地域の課題解決や活性化を図る市の「地域の底力」実践プロジェクト促進事業の一環として、夏祭りを企画した。同日はちょうじゃこども食堂、子育てサロン・サンサンルーム長者の協力を得て、ゲームや飲食などのコーナーを充実。会場には多くの家族連れが訪れ、屋台やゲーム、盆踊りなどを楽しんだ。</p>
(15)	<p>イトーヨーカドー 八戸での歴史に幕 44年市民に愛され</p> <p>八戸市沼館のショッピングセンター「ピアドゥ」内の核テナント「イトーヨーカドー八戸沼館店」が8月31日、営業を終了した。八戸のヨーカドーは、かつて十三日町にあった八戸店と合わせて44年にわたり親しまれてきた。この日は、午前中から大勢の買い物客が訪れ、午後7時の閉店後は、店舗の玄関前を大勢の人が取り囲むような形でセレモニーが行われた。八戸沼館店の後継にはイオン東北（秋田市）の店舗の入居が決まっており、2025年春のオープンを目指す。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p>国重要無形民俗文化財指定20年 八戸三社大祭 街中に感動の余韻</p> <p>青森県南地方最大の夏祭り、八戸三社大祭が7月31日～8月4日に開催され、盛況のうちに閉幕した。週末を含む日程だったこともあり、多くの家族連れや観光客が来訪。外国人の姿も目立った。期間中の入り込み数は、現在の集計方法となった2001年以降で最多の115万9千人。豪華絢爛な山車の競演は観客を圧倒し、国の重要無形民俗文化財指定20周年の節目を大いに盛り上げた。後夜祭には中心街と市庁前市民広場にライトアップされた山車全27台が勢ぞろい。今年は前年より後夜祭を1時間延長しており、最後の雄姿を見納めしようと多くの見物客が訪れた。</p>
(17)	<p>パリ五輪 小原選手 自転車スプリント6位、チームスプリント5位</p> <p>パリ五輪の自転車トラック種目に、八戸工大一高出の小原佑太選手（階上町出身）が出場した。個人種目の自転車男子スプリントは、欧州など世界の強豪と渡り合い、アジア勢最高の6位。団体種目のチームスプリント（長迫、太田、小原）では、日本新記録を2度更新する大健闘で5位だった。高校で競技を始めた頃は「普通の子」だったという小原選手は、努力を続けることで五輪まで来られるということ、今の高校生や中学生、これから競技を目指す子に伝えていきたいと語った。</p>
(18)	<p>榎谷伸夫さん「海村」都内で初公演 墓獅子も生披露</p> <p>八戸市公民館館長で演劇集団ごめ企画代表の、榎谷伸夫さんの一人芝居「老漁師吉田正吉が語る鮫村異聞 海村」が8月9～11日、東京・両国の劇場シアターX（カイ）で上演された。八戸市出身の詩人村次郎の詩集「海村」をモチーフにしており、自身が脚本を手がける。初演は1981年で、東京では初の公演。明治から昭和にわたる漁民の悲喜を全編南部弁で語り切った。また、普段は録音を流す鮫神楽の墓獅子も、今回は舞台上で生披露された。</p>
(19)	<p>市内の文化イベント情報発信 LINEアカウント開設</p> <p>八戸市美術館と八戸歴史文化発信事業実行委員会は、八戸の歴史や文化、芸術などに触れることができるイベント情報を発信するLINE公式アカウント「ヨッテミッテ」を開設した。市民と行政の協働によるまちづくり推進を目的とした市の制度、「元気な八戸づくり」市民提案制度に企画提案して採択を受けたもの。LINE登録すると、市内で予定されている歴史や文化関係のイベント情報が毎週金曜日に配信される。八戸歴史文化発信事業実行委員会が運営するWEBサイト「はちのへヒストリア」と連携しており、同サイトから各イベントのチラシを見ることができるといふ。</p>
(20)	<p>八戸西高 短歌甲子園 3年ぶり優勝</p> <p>第19回全国高校生短歌大会「短歌甲子園2024」の決勝が8月18日、盛岡市で行われ、県立八戸西高が3年ぶり2度目の優勝を果たした。大会には全国から21校が出場し、決勝トーナメントには8校が進出。決勝の題は「手」。社会的なテーマを扱う八戸西高らしさや、上の句と下の句での対比を用いた技法など、練習の成果を存分に発揮し、文芸部3年奥銀次郎さん、2年高畑道磨さんと脇坂望杏さん3人が昨年準優勝の雪辱を果たした。また、高畑さんは、大会全体を通して最も先鋭的な一首に贈られる「石川啄木賞」も受賞した。</p>

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主査] 齋藤 千聖 [事務員] 浜井 章代

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記4つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



JRE MALL



送付先

広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

